

JFMA
FM^{*}プロジェクトマネジメント研究部会
2024年度秋の18講座

部会長 菅野 誠

2024年8月
@JFMA

当基礎講座の概要

ア ジ ェ ン ダ
AGENDA



FMPM研究部会の位置付け



FMPMの基礎知識 - FMPMとは



本年度の研究テーマ

(FMPM : FMプロジェクトマネジメント)



FMPM研究部会の位置付け

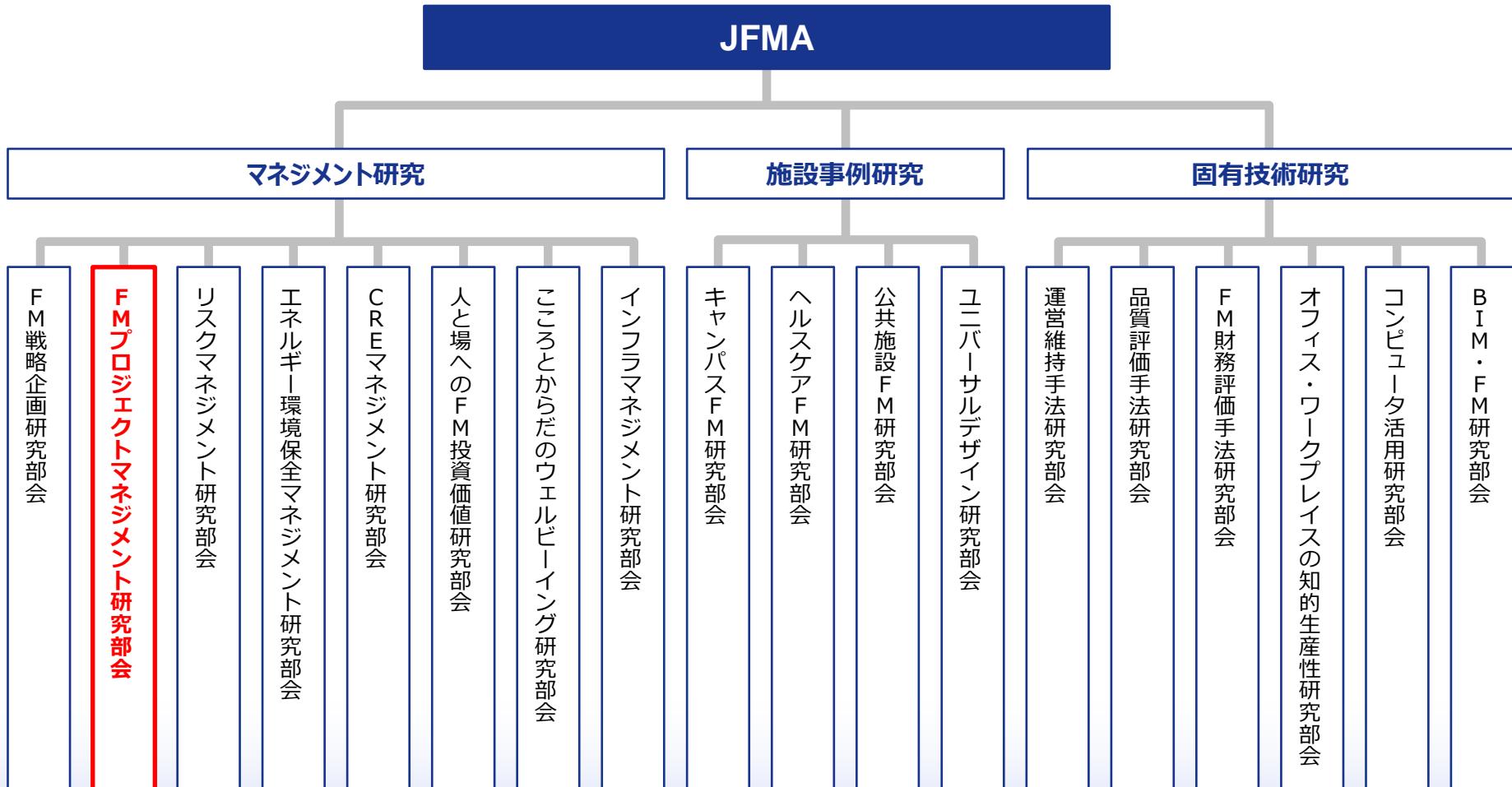


FMPMの基礎知識 - FMPMとは



本年度の研究テーマ
(FMPM : FMプロジェクトマネジメント)

FMPM研究部会のご紹介



50:50 インハウス*ベンダー、男性*女性

FMPM調査研究の趣旨と手法



趣旨

ワークプレイスを**第四の経営基盤**とした企業の
FMPM力向上に寄与する、調査研究と要請普及を行う



手法

- 先進ワークプレイスプロジェクトとの事例視察 etc...
- 新たな要求課題への対応策の考察



FMPM研究部会の位置付け



FMPMの基礎知識 - FMPMとは



本年度の研究テーマ
(FMPM : FMプロジェクトマネジメント)

プロジェクトマネジメントとは？

米国PMの歴史「PMIとPMBOK」

1969年

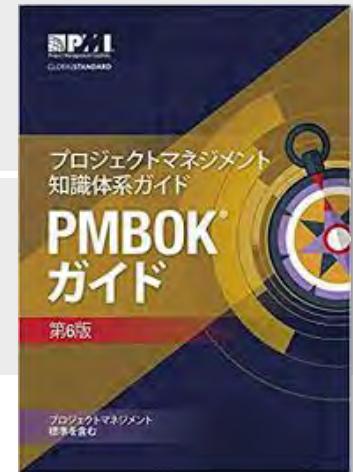
プロジェクトマネジメントを職業とする職業人団体
Project Institute (PMI) が結成

1983年

Construction Industries Institute (CII) を設立

1987年

PMIがPMBOKを編集
プロジェクトマネジメントの基礎知識体系



1996年

PMIがPMBOKを改定
標準教科書「PMBOK Guide®」として発行
プロジェクトマネジメントプロフェッショナル (PMP®) 資格認定

プロジェクトマネジメントとは？

日常業務との違い



プロジェクトマネジメントとは？

プロジェクトマネジメントに重要なことは

プロジェクトとは、

- ①**有期性があること**
- ②**独自性があること**

の2点で定義される



開始時



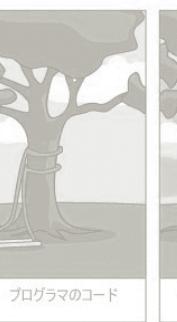
顧客が説明した要件



プロジェクトリーダの理解



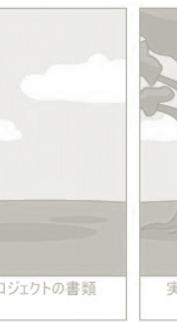
アナリストのデザイン



プログラマのコード



営業の表現、約束



プロジェクトの書類



実装された運用



顧客への請求金額



得られたサポート
顧客が本当に必要な物

目的をすり合わせる

プロジェクト憲章

参照

<http://images.uncyc.org/commons/f/f4/Management-what-the-costomer-really-needed-jp.JPG>

プロジェクトマネジメントとは？



顧客が説明しが要件



プロジェクトリーダの理解



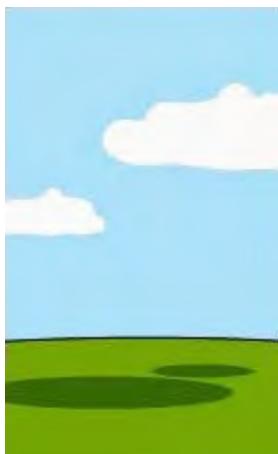
アナリストのデザイン



プログラマのコード



営業の表現、約束



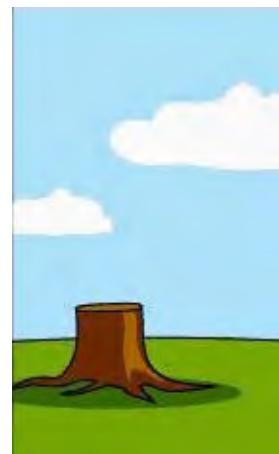
プロジェクトの書類



実装された運用



顧客への請求金額



得られたサポート



顧客が本当に必要だったもの

参照

<http://images.uncyc.org/commons/f/f4/Management-what-the-costumer-really-needed-jp.JPG>

FMPMとは

FMPMとは、
ファシリティの整備・運用※において



- 1. 目的達成に向けて**
- 2. 企画・計画を立て**
- 3. 実行監視・コントロール**
- 4. 終結**
すること

FMPM研究部会の調査研究成果

3冊の書籍およびCD-ROMにFMPM知識を網羅しています



小説
「総務の山田です。」
Kindle版：123円



**オフィス移転業務フロー
完全マニュアル**
一般：1,100円／会員：880円



**「総務の山田です。」
テンプレート集**
一般：4,400円／会員：3,300円

プロジェクトマネジメントとは？

プロジェクトを成功裏に完了させることを
目指して行われる活動のこと

参照 ウィキペディア©

プロジェクト（Project） とは
特命使命（Specific Mission） を受けて、
始まりと終わりのある特定期間（有期性） に、
資源・状況などの特定制約条件（Constraints） のもとで
目標達成を目指す、将来に向けた
価値創造事業（Value Creation Undertaking） である

参照 P2M標準ガイドブック 財団法人エンジニアリング振興協会©

FMPMの概要を知る

小説「総務の山田です。」この一冊でオフィス移転プロジェクトの流れがわかる



小説
「総務の山田です。」

「経営環境が厳しい。オフィス集約で経費削減を進めてくれ」

中小企業ユーキケミカル、山田大輔は総務部に転属して3年。
これまでの場当たり的な模様替えを担当経験から、
本社移転のプロジェクトリーダーに抜擢されてしまう。

自社の**経営手法**や**管理手法**の**不備**に気付き、
FMPMに詳しい社外の先輩に助けを求めるのだが…

10年後、リモート活用による出社率縮小で
さらなる**オフィス縮小**を果たし、海外拠点とARリモート会議を行う、
山田と移転チームの、その後から物語は始まる。

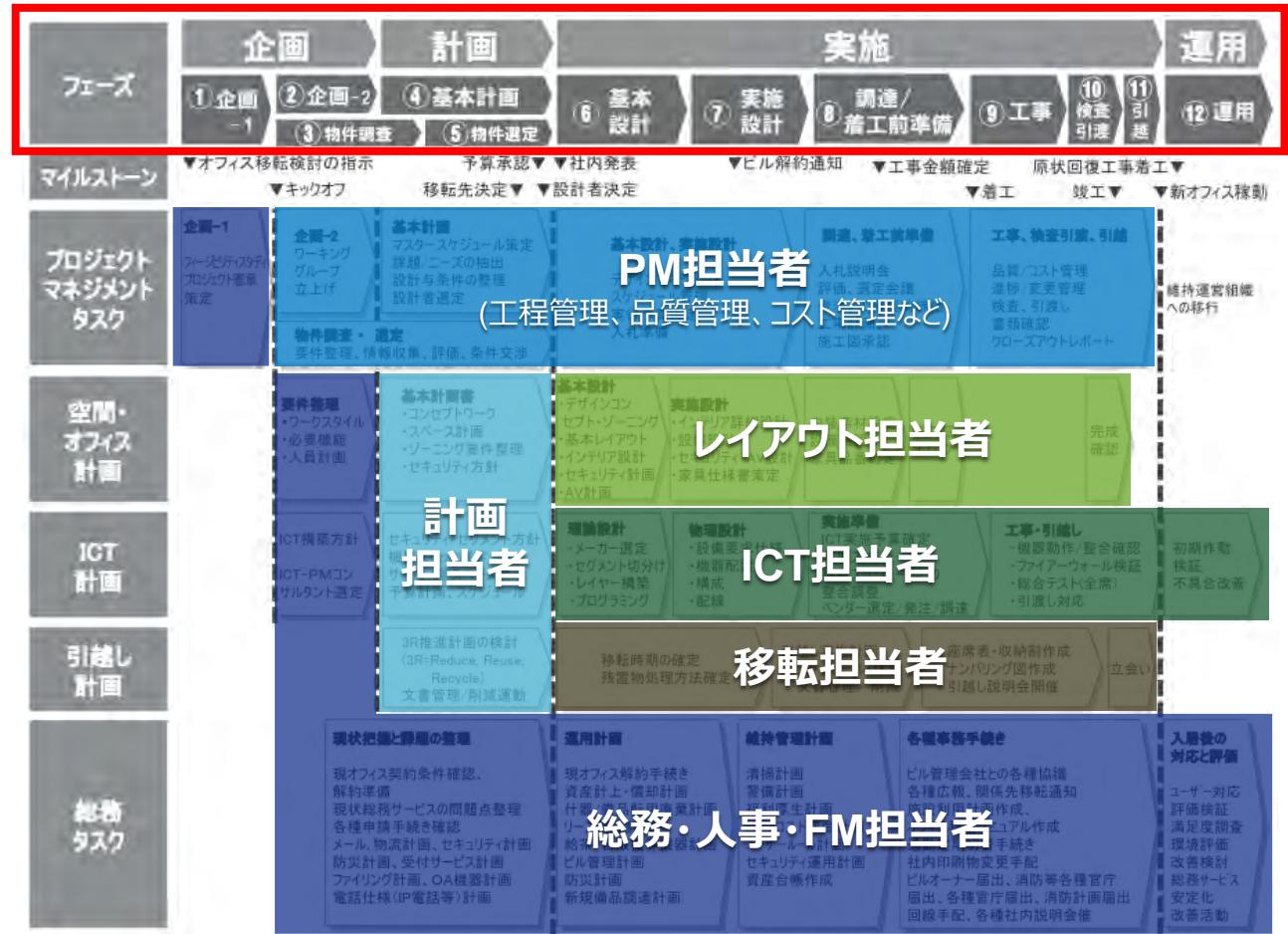
コロナ禍後の「今」の課題解決にもつながる一冊

FMPMの全貌を知る

オフィス移転業務フロー完全マニュアルはプロジェクトの各フェーズと各担当者の役割を解説



オフィス移転業務フロー
完全マニュアル



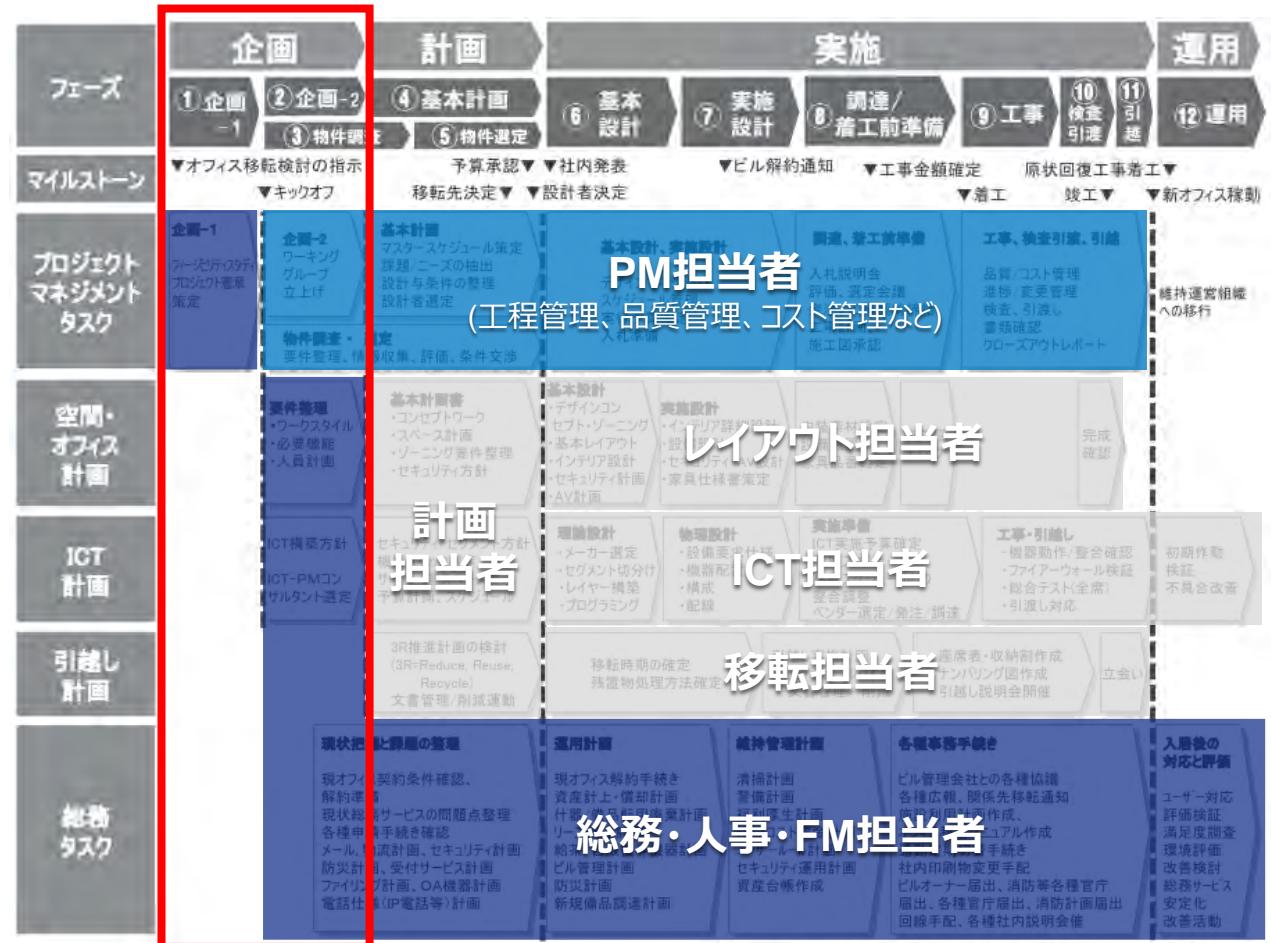
*建物仕様変更(アーリーモーブ)は発生しないもの／外部PMサービス提供者を選択する想定

企画フェーズ

総務・人事・FM担当者が要件を企画、PMアウトソーサの活用是非も検討



オフィス移転業務フロー
完全マニュアル

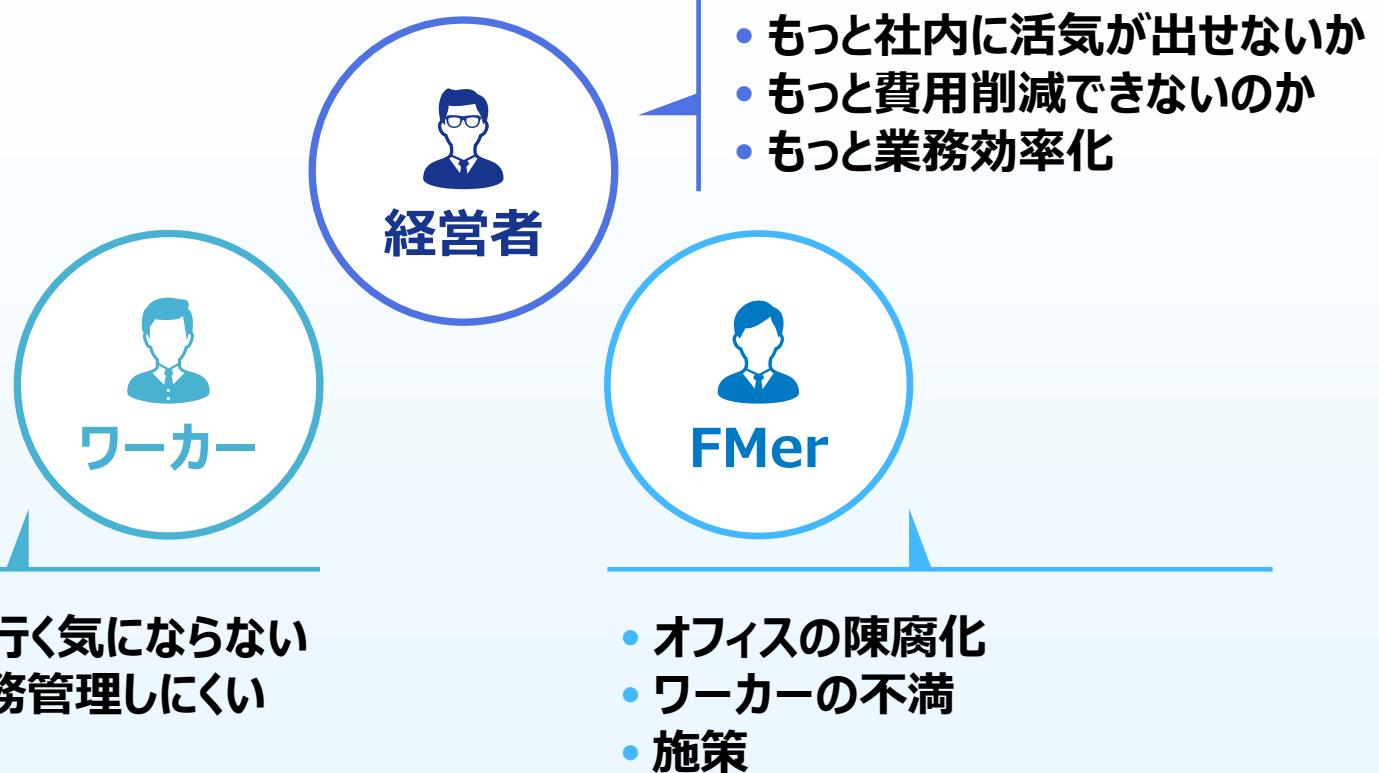


*建物仕様変更(アーティファクト)は発生しないもの／外部PMサービス提供者を選択する想定

企画フェーズ

様々な視点からオフィスにまつわる課題を把握する

経営環境の変化



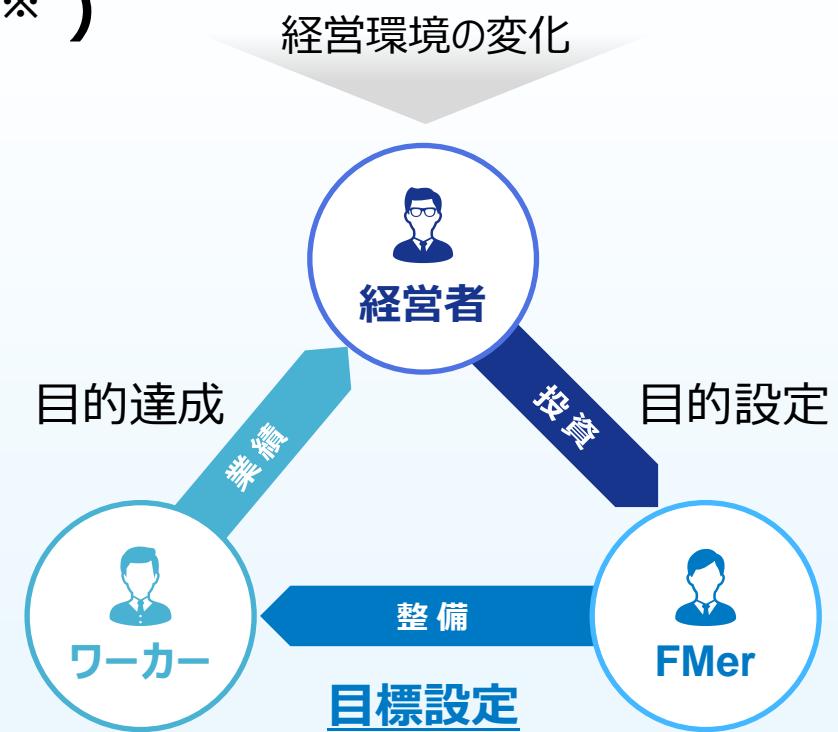
企画フェーズ

プロジェクトにおける問題の因果関係を紐解く

- ✓ 経営環境の変化（経営課題）
- ✓ 問題解決に向けた目的設定（KGI※）
- ✓ オフィス整備の目標設定（KPI※）

※ KGI = Key Goal Indicator
(売り上げや利益、時価総額などの達成指標)

※ KPI = Key Performance Indicator
(費用や稼働率などの計測指標)



企画フェーズ

経営課題達成（KGI）につながる、オフィス整備での目標（KPI）設定例

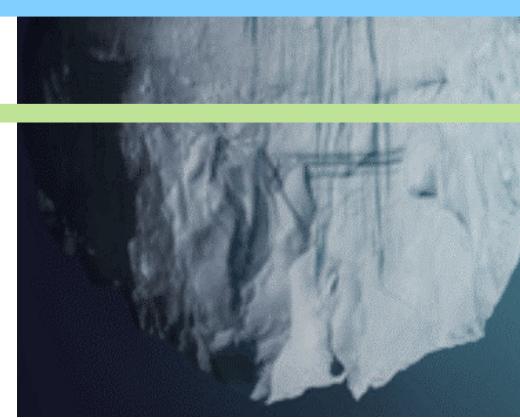
収入の部（増やす）

- **価値時間**（コミュニケーション・コラボ・集中）
- **ブランド**（競争力・従業員満足度）



支出の部（減らす）

- **固定費**（賃料・光熱水・未稼働・MAC※・修繕※）
- **変動費**（労務費・採用育成費・保険負担）

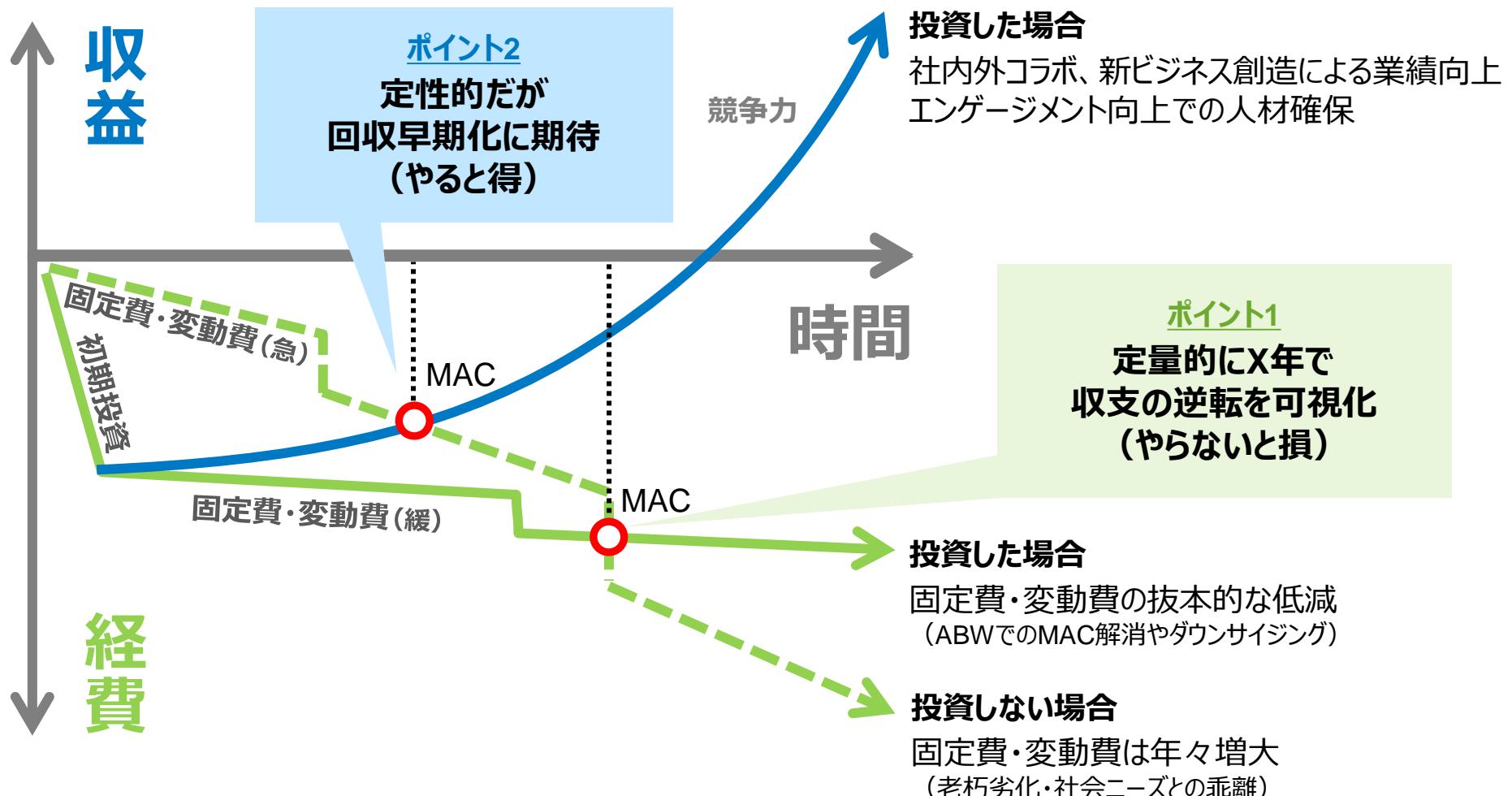


※ MAC = Moves, Adds and Changes（組織・人員変動等に伴う定期的な更改対応費）

※ 修繕 = 空調・照明・衛生・内装・什器などの計画修繕および不具合対応費

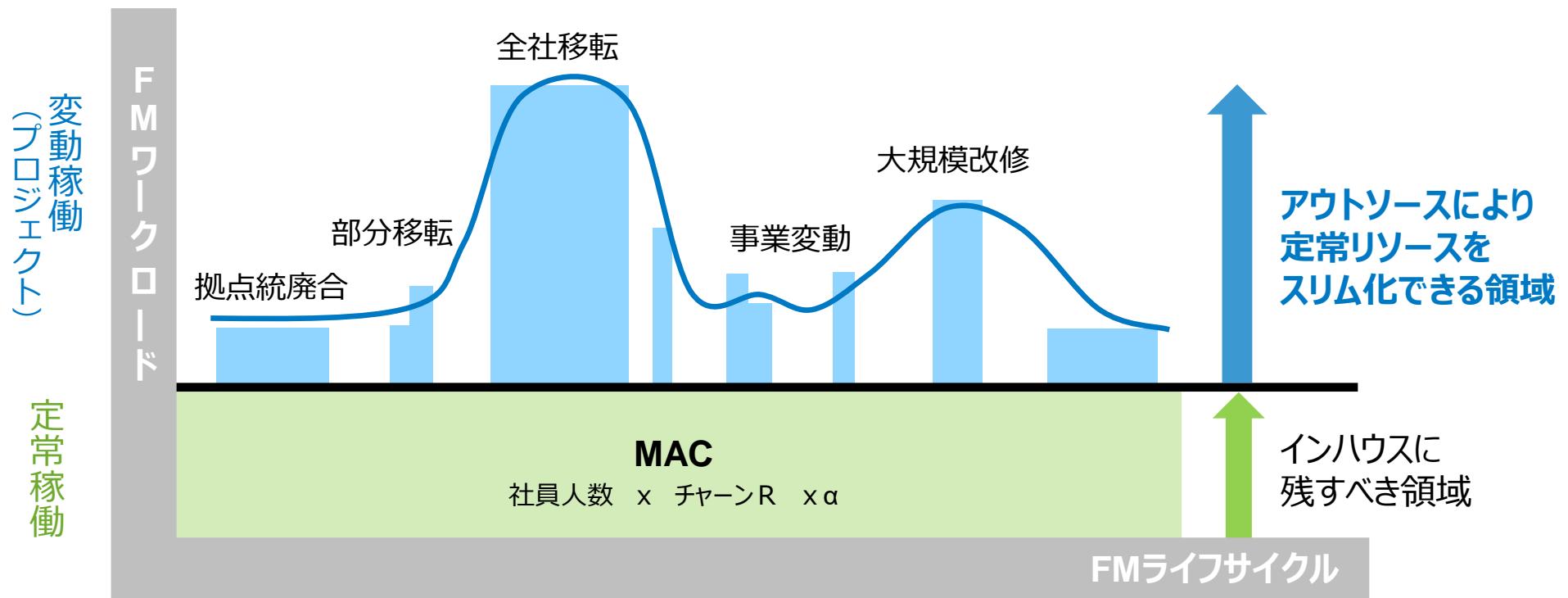
企画フェーズ

仮想収支を可視化し、経営者のプロジェクト意思決定を導く



企画フェーズ

FMワークロードの変動に対しアウトソースの導入是非を検討する



企画フェーズ

3点セット(要旨、SOW、回答書式)を作成しアウトソーサを募集

ポイント

- ・**要旨**でプロジェクトの**目的・目標**を明確に伝える
- ・**SOW**で**業務委託範囲**を明確にする
- ・**回答書式**で提案比較しやすいようにする

要旨
○○社 本社集約移転計
<u>プロジェクト要旨</u>
本社移転に伴い 1. ○○の実現 2. ○○の削減 3. ○○の維持 を目指すための外部協力者を 募集する

SOW (Statement Of Work)	
業務委託範囲	成果物
PM業務	成果報告書
プログラミング業務	基本計画書
オフィス設計業務	
電気設計業務	設計図書
空調衛生設計業務	
積算業務	積算図書
調達支援業務	調達書類
引越し管理業務	管理書類

回答書式
<u>技術提案書</u>
○○については○○を○○で計画
<u>費用内訳書</u>
PM業務 人数×単価×日数 =○○

企画フェーズ

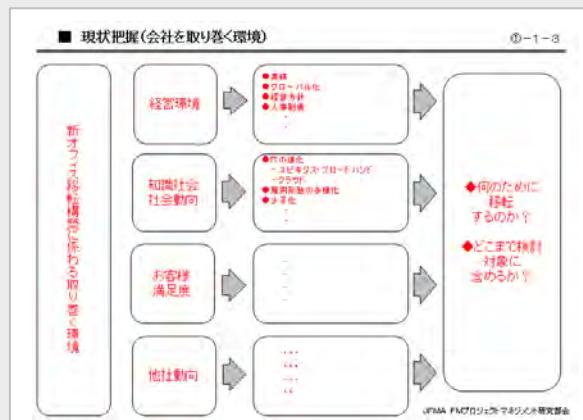
下記を含め企画フェーズで使える51種のテンプレートデータを収録



「総務の山田です。」
テンプレート集

■第1次ヒアリング調査表-1(部門トップ対象) 担当者に対する項目		①-2-2
現在、当社ではオフィスの移転を考えています。本社オフィス構造・移転に關し、皆さまのご意見をお伺いします。危機のないご意見をお寄せください。なお、当アーティスト情報はオフィスの構造・移転の用途以外には使用いたしません。		
1. 本社ビル移転の時期について	◎出来るだけ早い時期に委嘱一つ年以内に / ◎今はその時期ではない	
	理由をお書きの場合はその理由をご記入ください。	
2. 移転するとすればどのエリアがご希望ですか?	◎内のみ ◎近畿地区 ◎新潟 ◎その他ご希望地区	
3. 本社移転について経営的観点から課題はなに? なければならない項目を優先度が高い順つづけて記入ください。	◎事業の複数性から運営が立地であり物理的にコスト的に問題が多いこと。 ◎賃料負担、お客様満足度の向上	

ヒアリングシート



現状把握シート

■概略収支予算表		①-2-5	
予算項目	内 容	費用(円)	備考
収入	●売却収益 ○年間で計画的に使う資金の売却 ●権利金収益 ○年間で計画的に権利金の運用に関する費用 ●資産運用 ○年間で計画的に収入に見合する資産物件の売却と買入の差 ●その他		
支出	●土地・建物購入費 ○新築内装費 ●建物内装 ○室内什器 ○オフィスワーク ○内装工事費 ○新築・改修費(FC、サーバー、AV、会議室、コラム、壁) ○セキュリティ ○その他		
△引当・費用	●運送販送費用 ○設計・コンサル費用 ○子傭費 ○その他		

収支算定表



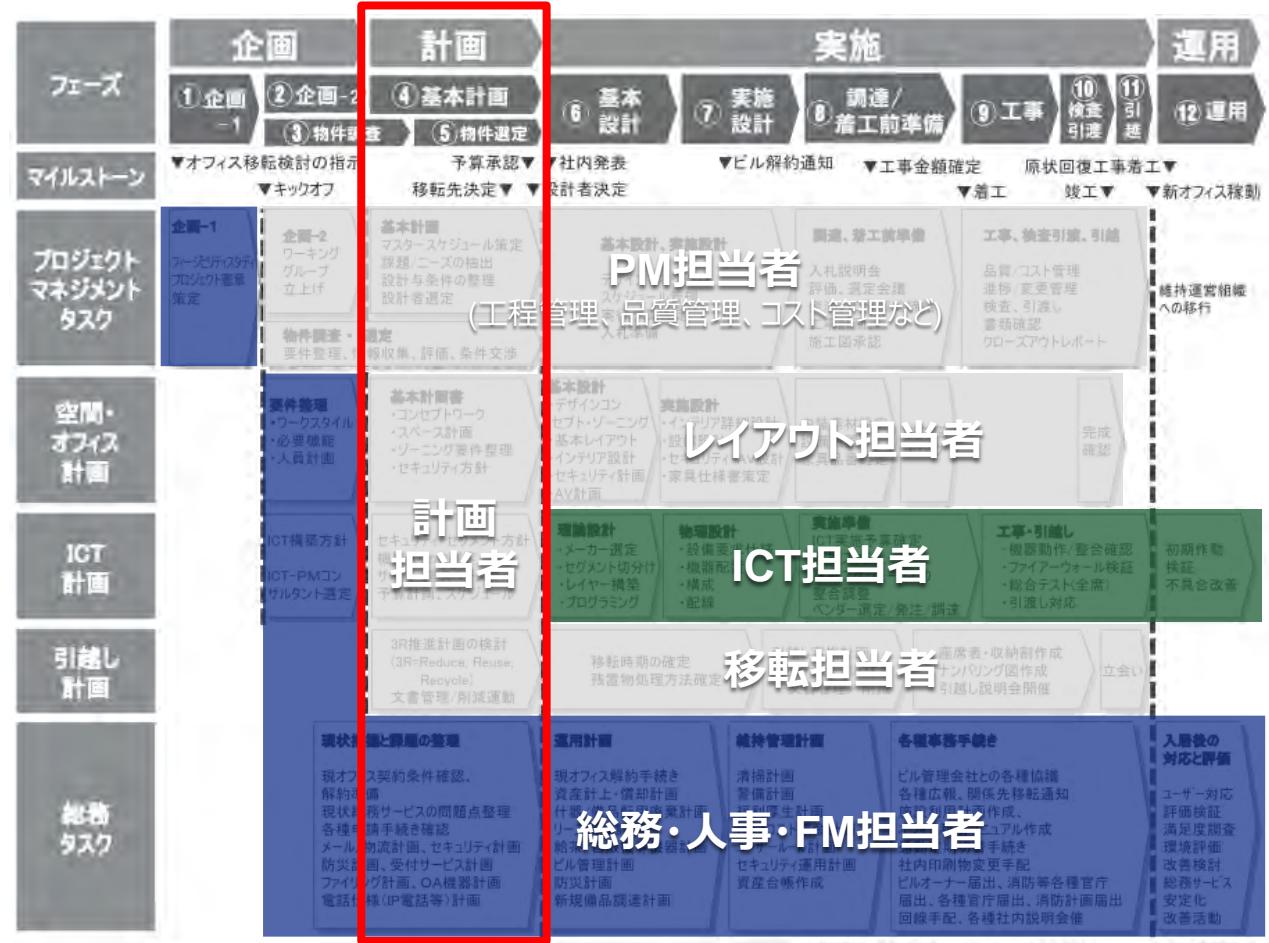
プロジェクト憲章作成シート

計画フェーズ

レイアウト、ICT、引越し、運用等の基本計画を作成



**オフィス移転業務フロー
完全マニュアル**



*建物仕様変更(△工事変更)は発生しないもの／外部PMサービス提供者を選任する想定

計画フェーズ

メインオフィス中心での考え方から、様々な場所の中のメインオフィスへ考え方が変化

メインオフィス中心の
ABW*型ワークプレイスを
採用する企業はあった

※ Activity Based Working、業務に応じて最適な場所を選ぶ働き方



- スペースコスト
- 通信コスト
- きれいなオフィス
- リクルートに最適
- 立地検討…

リモートワーク拡大により
自宅やシェアオフィス等へ
ABWが拡大した



- BCP
- エコ
- 生産性
- ダイバーシティー
- セキュリティー
- トータルコスト
- コミュニケーション
- モチベーション
- シナジー
- 組織風土改革…

計画フェーズ

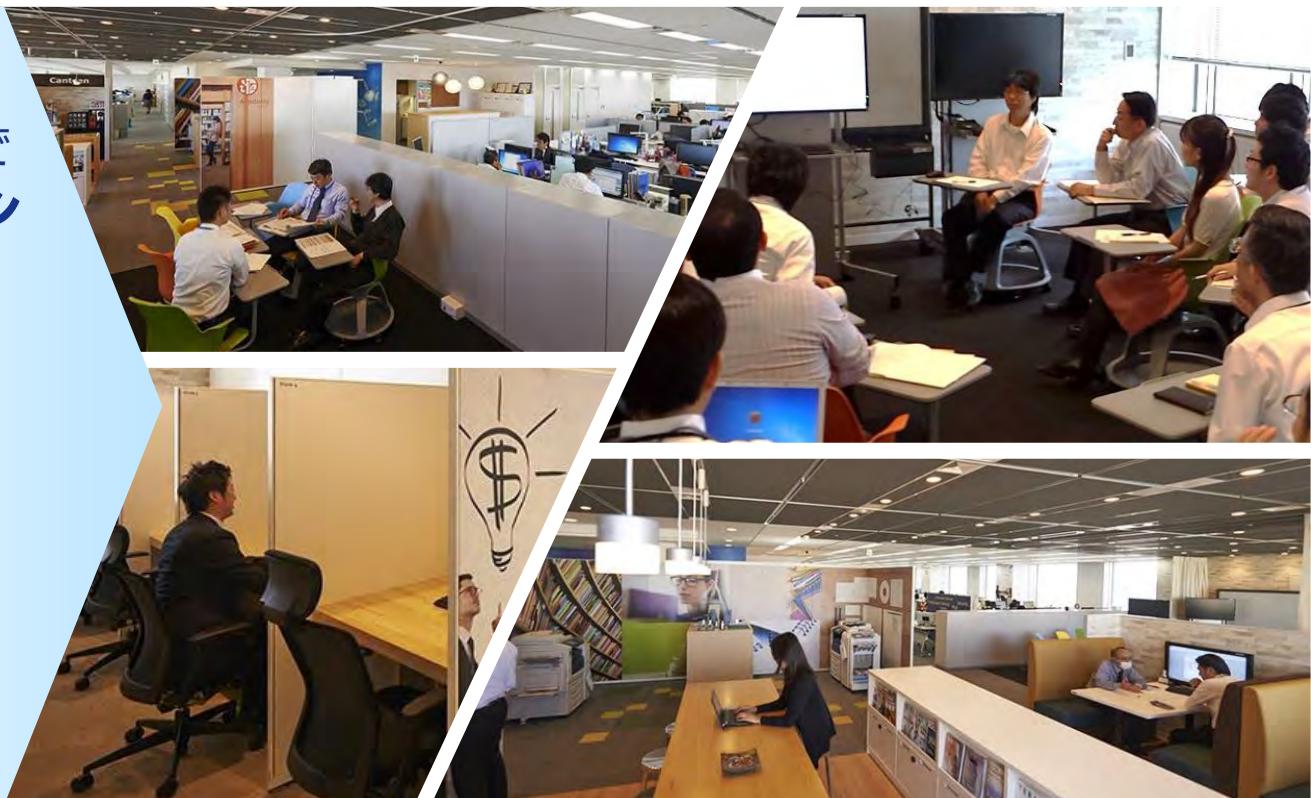
整備目標に基づくコンセプトづくりの例



どこでもコラボで
イノベーション

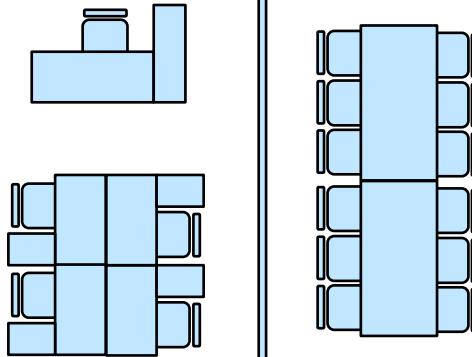
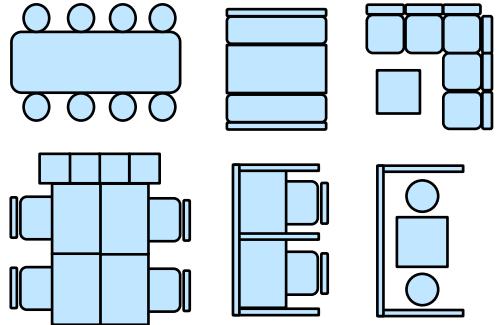
競争力
満足度向上
人材確保

効率稼働
面積縮小
経費削減



計画フェーズ

コンセプトを意識したレイアウト担当者のレイアウト基本計画例

	固定席方式	ABW方式
コンセプト		
イメージ		
組織行動	○ 管理しやすい	△ グループアドレスで○
集中作業	△ 自席での集中阻害あり	○
コラボ	△ コラボ機会少	○
従業員満足度	△	○
費用（稼働率・MAC）	×	○
	空席や会議室未稼働	選択の自由度

計画フェーズ

コンセプトを意識した総務・人事・FM担当者の制度変更計画例

		労働重視	成果重視
主な決まり	就業規則（拘束・罰則）		職務記述書（業績・権利）
人材像	ジェネラリスト		スペシャリスト
評価	時間・減点法		業績・加点法
自由度・責任	小・組織		大・個人
報酬	拘束時間見合い		業績見合い
働き方（ワーカー目線）	いかに面倒なく・長時間		いかに業績よく・短時間
働きかせ方（経営者目線）	いかにリスク少なく		いかに成果多く
行動単位	組織単位		プロジェクト単位
オフィス	固定席		自由席

計画フェーズ

下記を含め計画フェーズで使える33種のテンプレートデータを収録



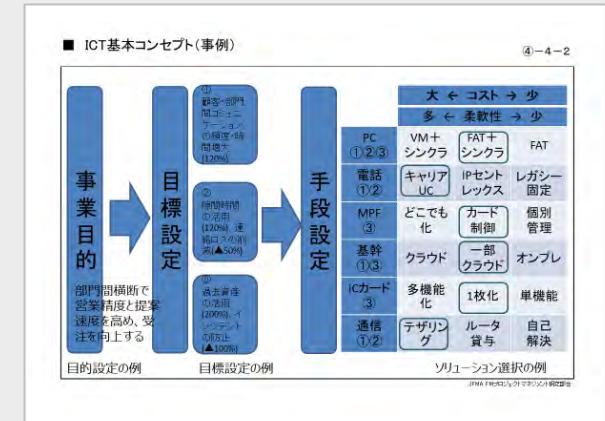
「総務の山田です。」
テンプレート集

■在席率調査表											
No.	部門分類I	部門分類II	部署分類	実施日	曜日	実施時間	席数	空席数	在席率	平均	備考
1	○○本部	○○新○課	○○営業	2月8日	月	10時	40	20	50%	46%	一部マーケティング中
				2月10日	月	10時	40	18	45%		
				2月12日	火	10時	40	15	38%		
				2月14日	水	10時	40	21	47%		
2	△△本部	△△部△△課	△△担当	2月8日	月	10時	50	5	90%	25%	
				2月10日	月	10時	50	10	20%		
				2月12日	火	10時	50	15	30%		
				2月14日	水	10時	50	20	40%		
3	△△本部	△△部△△課	△△担当	2月8日	月	10時	30	25	83%	90%	×業務実習中
				2月10日	月	10時	30	28	53%		
				2月12日	火	10時	30	29	67%		
4	△△本部	△△部△△課	△△担当	2月8日	月	10時	20	5	25%	61%	
				2月10日	月	10時	20	18	10%		
				2月12日	火	10時	20	6	20%		
				2月14日	水	10時	20	20	100%		
5	△△本部	△△部△△課	△△担当	2月8日	月	10時	15	14	93%		
				2月10日	月	10時	15	0	0%		
				2月12日	火	10時	15	12	80%		
				2月14日	水	10時	15	2	13%		

出社・在席率調査票

No.	項目名	内容	備考
1 プロジェクトの背景・ニーズ			
1.1	経営環境	・前年度は150%の高い成長率	
1.2	お客様志向（マーケティング）	・クラウド化からの変化が見受けられる ・グローバル化の世界	
1.3	社会動向	・少子高齢化の急速な進展	
1.4	他社動向	・競合A社が年後本社ビル建設予定	
2 オフィスを取り巻く課題			
2.1	安全安心	・印字・複数枚複数面 ・セキュリティ	
2.2	効率化の基準	・会議室への不足 ・お客様への不足 ・文書類の混在	
2.3	意思決定のスピーディ化と見える化	・期間的時間の基準 ・ICTを利用した業務の共通化	
2.4	ワークスタイルと ICT の活用	・どこでもオフィス ・シンクライアント	

コンセプト検討シート



ICTコンセプト検討シート

■基本計画書の内容(事例)	
1.実現可能の候補物が挙げられたなかで、より実現可能な候補を選び、既存の各条件について記述する基本計画書として、便り込みへ向けて内容を整理せよとします。	内閣
2.実現可能候補	既に必要である
2.1.プロジェクト名	プロジェクトを明確化する
2.2.プロジェクトの背景・ニーズ	プロジェクトの背景を明確化する
2.3.セグメントなど	セグメントを明確化する
2.4.実現可能とするための条件	実現可能にするための条件を明確化する
2.5.課題	課題を明確化する
2.6.課題に対する対応策	課題に対する対応策を明確化する
2.7.実現可能の候補	実現可能の候補を明確化する
2.8.実現可能の候補の選定理由	実現可能の候補を選定する理由を明確化する
3.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.1.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.2.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.3.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.4.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.5.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.6.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.7.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.8.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.9.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.10.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.11.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.12.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.13.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.14.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.15.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.16.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.17.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.18.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.19.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.20.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.21.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.22.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.23.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.24.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.25.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.26.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.27.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.28.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.29.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.30.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.31.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.32.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.33.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.34.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.35.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.36.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.37.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.38.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.39.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.40.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.41.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.42.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.43.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.44.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.45.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.46.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.47.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.48.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.49.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.50.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.51.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.52.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.53.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.54.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.55.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.56.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.57.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.58.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.59.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.60.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.61.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.62.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.63.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.64.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.65.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.66.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.67.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.68.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.69.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.70.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.71.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.72.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.73.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.74.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.75.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.76.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.77.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.78.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.79.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.80.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.81.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.82.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.83.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.84.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.85.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.86.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.87.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.88.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.89.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.90.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.91.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.92.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.93.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.94.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.95.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.96.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.97.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.98.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.99.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する
3.100.実現可能候補の選定理由	実現可能候補を選定する理由を明確化する

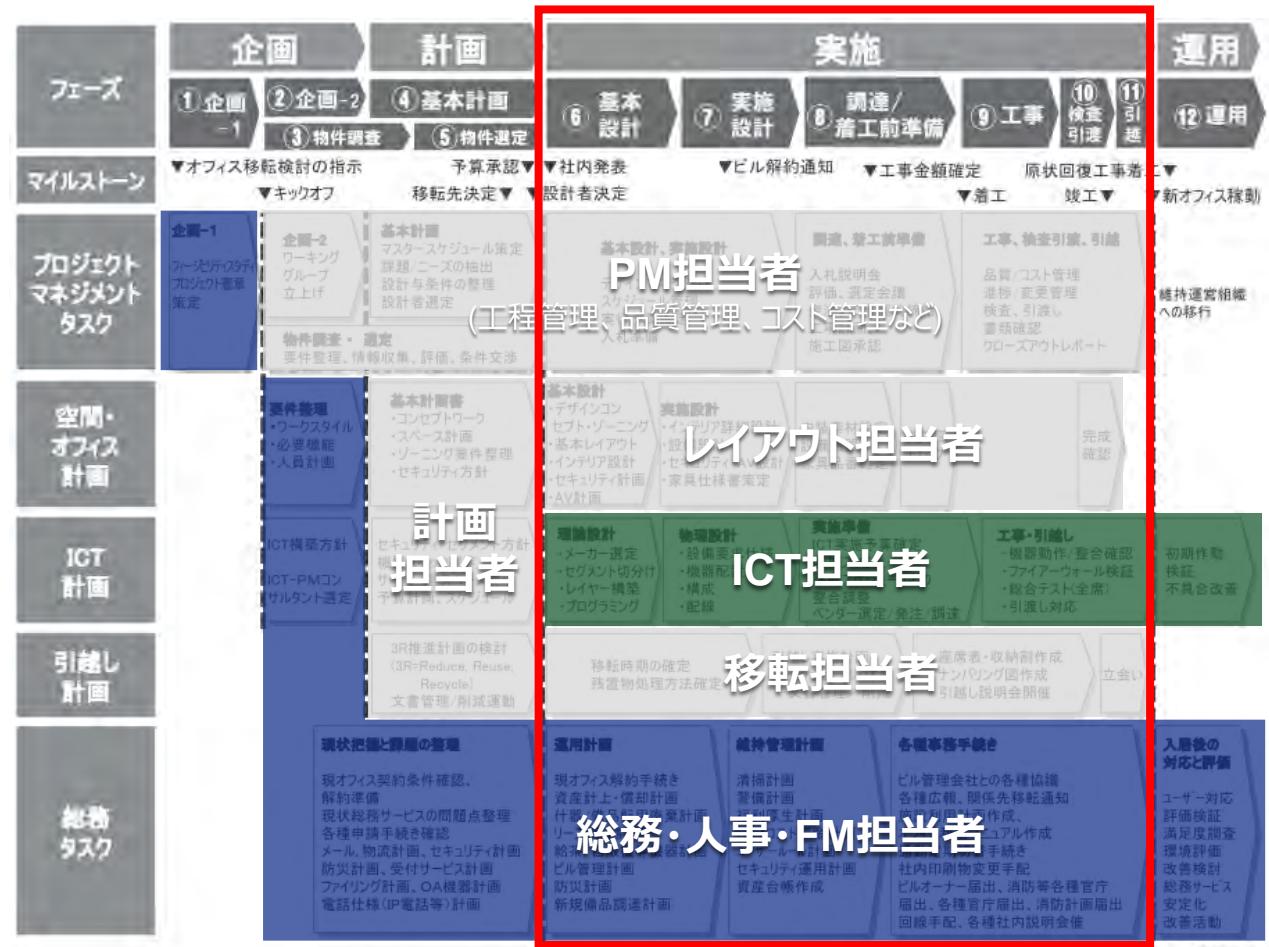
基本計画書作成シート

実施フェーズ

設計、調達、工事、引越の実施と、それらのマネジメント



**オフィス移転業務フロー
完全マニュアル**



実施フェーズ

プロジェクト体制の構築



実施フェーズ

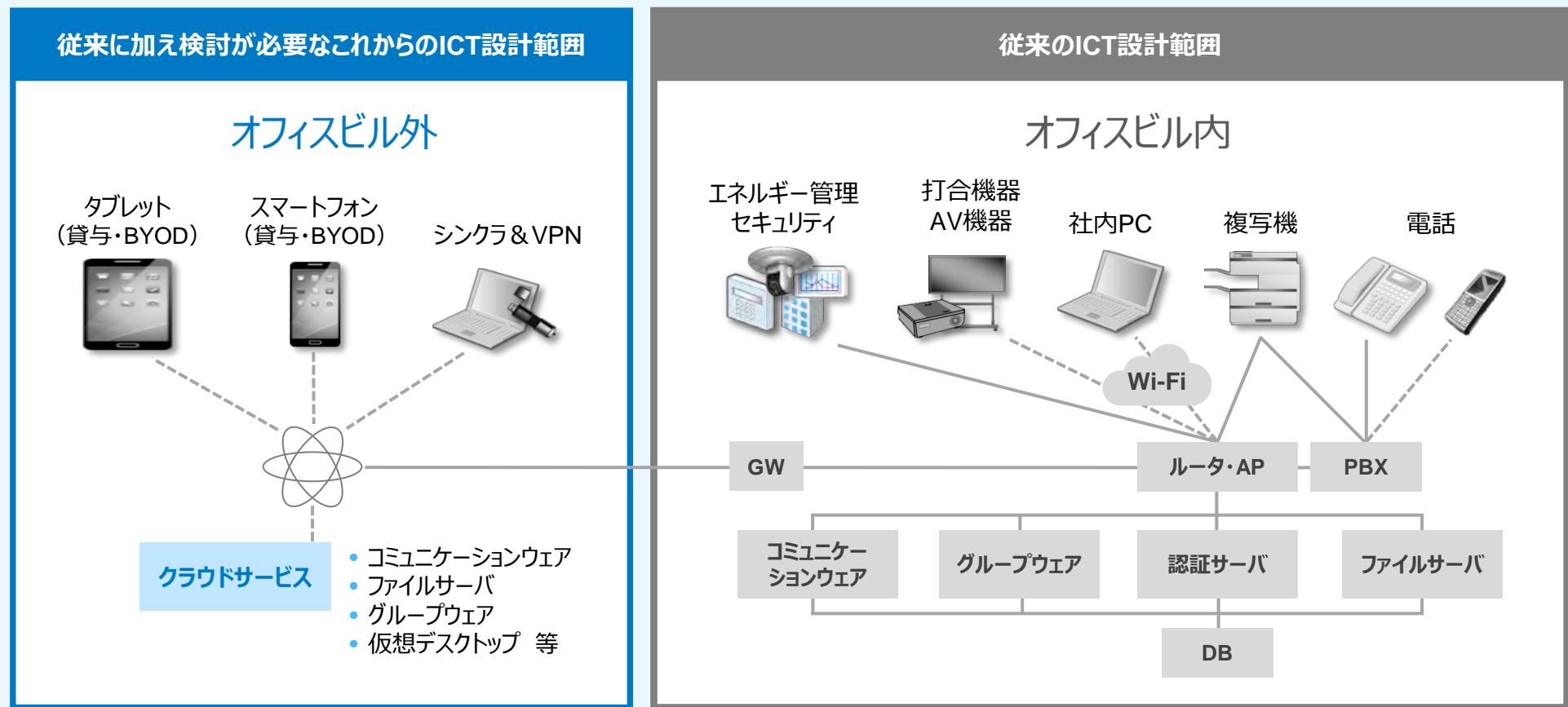
PMによる各種マネジメントの実施

スコープマネジメント	要求事項の整理、目的
コミュニケーションマネジメント	情報ツール、伝達のルール付け
ヒューマンリソースマネジメント	PM組織設計、人員調達
リスクマネジメント	リスクの定義、事前予防、BCP
タイムマネジメント	マスタスケジュール
コストマネジメント	予算管理、変更管理、追加稟議
クオリティーマネジメント	品質管理、監視、是正指示
プロキュアメントマネジメント	調達、最適購買
ステークホルダーマネジメント	経営者、社員等との協議
インテグレーションマネジメント	上記すべての統括管理

実施フェーズ

コンセプトを意識したICT担当者のICTシステム・ツール基本設計例

いつでも、どこでも、つながるワークスタイルで生産性とセキュリティ、BCP、エコを実現



実施フェーズ

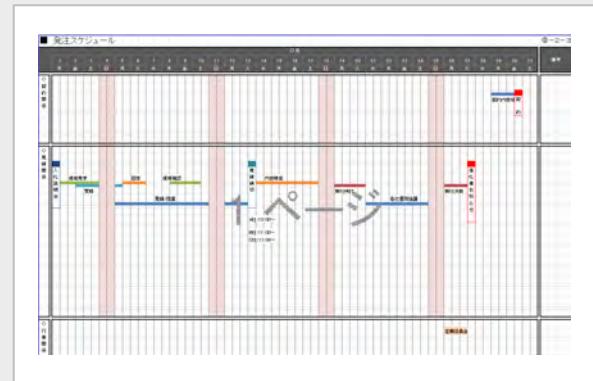
下記を含め実施フェーズで使える126種のテンプレートデータを収録



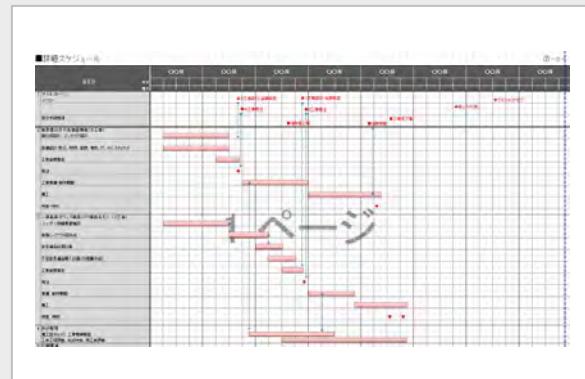
「総務の山田です。」
テンプレート集



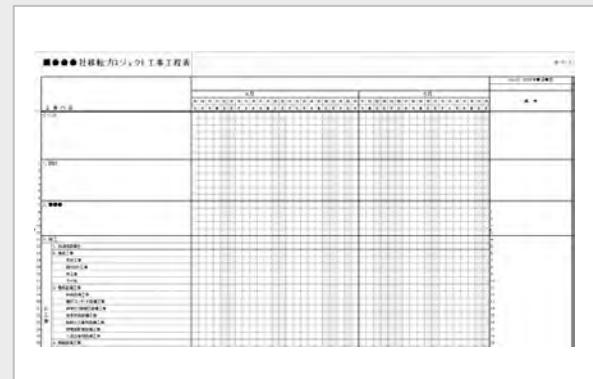
マスタースケジュール



発注スケジュール



詳細スケジュール



工事工程表

実施フェーズ

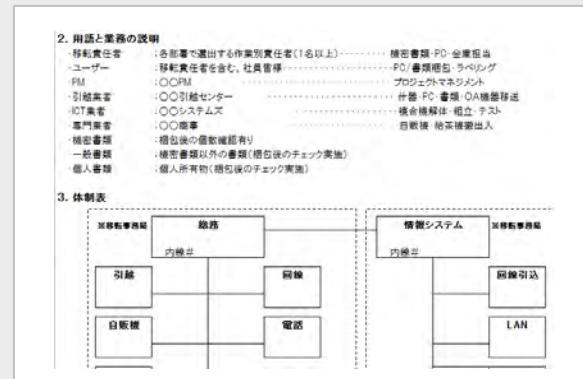
下記を含め実施フェーズで使える126種のテンプレートデータを収録



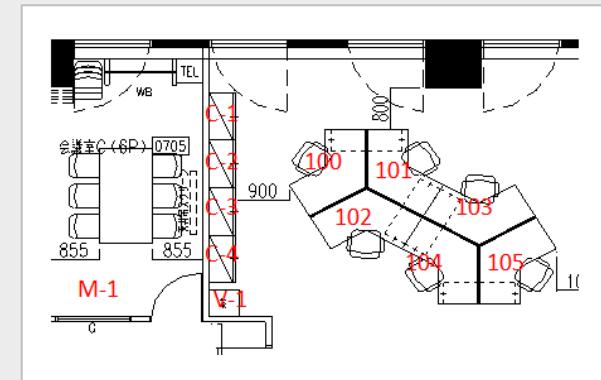
「総務の山田です。」
テンプレート集

引越関連タスク		チェック
◆引越し3か月前		
・新オフィスビルの館内規則の確認・協議	<input type="checkbox"/>	
・新オフィスルールの計画及び協議(受付・会議室・リフレッシュ・喫煙室・執務室等)	<input type="checkbox"/>	
・転居荷物リストの作成	<input type="checkbox"/>	
・倉庫・荷物書類の整理とリサイクルの課題項目の検討	<input type="checkbox"/>	
・社内規定の変更	<input type="checkbox"/>	
・セキュリティカード及び新社員証の作成(デザイン・写真撮影等)	<input type="checkbox"/>	
◆2か月前		
・ナンバリング図作成依頼(引越し業者へ)及び確認	<input type="checkbox"/>	
・引越し作業工程・体制の確認	<input type="checkbox"/>	
・新オフィスルールにおける社内広報資料(利用マニュアル)作成	<input type="checkbox"/>	
・リース・レンタル(家具・給茶機・マスター・昇降梯・分煙機・水槽・自動販売機など)の 契約通り及び新規契約手続き	<input type="checkbox"/>	
・電話番号変更申請(電話回線業者)※番号にごだわる場合は可能な限り早く申請	<input type="checkbox"/>	
◆1ヶ月前		
・新オフィスルールの社内通知	<input type="checkbox"/>	
・通信回線変更申請	<input type="checkbox"/>	
・座席表の作成(まとめ)*入社選手の人事針對を把握のこと	<input type="checkbox"/>	
・内線番号の割り付け依頼及び確認	<input type="checkbox"/>	
・引越し説明会資料作成及び引越しWGとの協議	<input type="checkbox"/>	

引越業務タスクリスト



引越マニュアルサンプル



ナンバリング図サンプル

項目	確認内容	チェック
個人	廃棄物の処理は完了できましたか	<input type="checkbox"/>
	梱包済みのダンボール箱にラベルは貼られていますか	<input type="checkbox"/>
	数量・氏名・部署名等書き間違いはありませんか	<input type="checkbox"/>
	機密書類が梱包した全てのダンボール箱に封緘シールをはりましたか	<input type="checkbox"/>
	机・ワゴン等の引出しの中身は空になっていますか	<input type="checkbox"/>
	机・ワゴン等の鍵を引出の内部にテープ等で貼りましたか	<input type="checkbox"/>
	什器には指定の箇所にラベルを貼りましたか	<input type="checkbox"/>
	キーボードの中身は空になっていますか	<input type="checkbox"/>
	キーボードの扉の鍵(2本とも)を扉の内側にテープ等で貼りましたか	<input type="checkbox"/>
	引出は閉鎖されていますか	<input type="checkbox"/>
	ゴミ箱の中身は奥まで空しましたか	<input type="checkbox"/>
	防災グッズはマグネットも一緒に梱包しましたか	<input type="checkbox"/>
	一般事務(スティック型ラベルをはりましたか。(テープ補強)	<input type="checkbox"/>

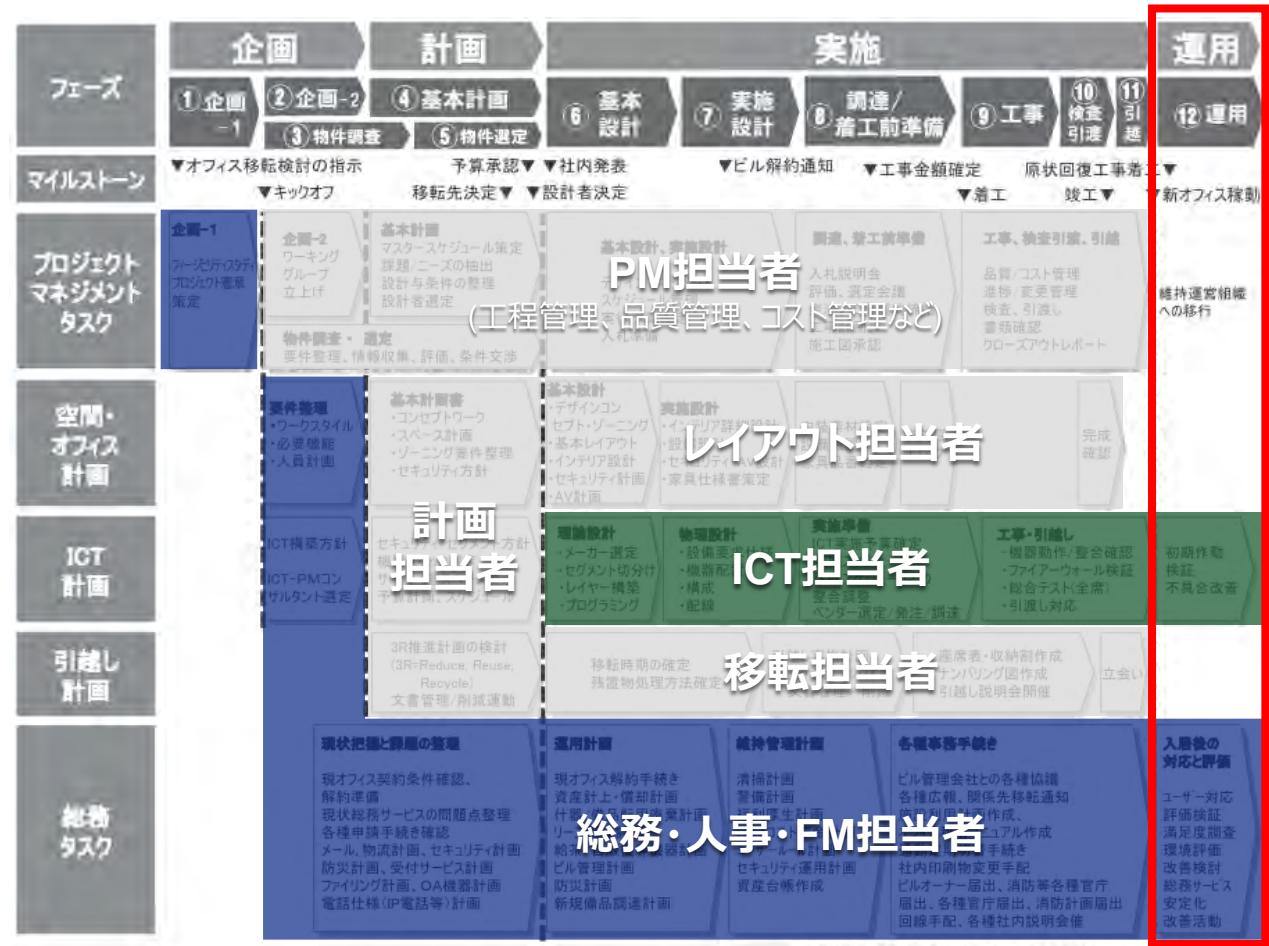
前日確認チェックリスト

運用フェーズ

プロジェクトのクロージングと、運用担当者への情報引き渡し



オフィス移転業務フロー完全マニュアル



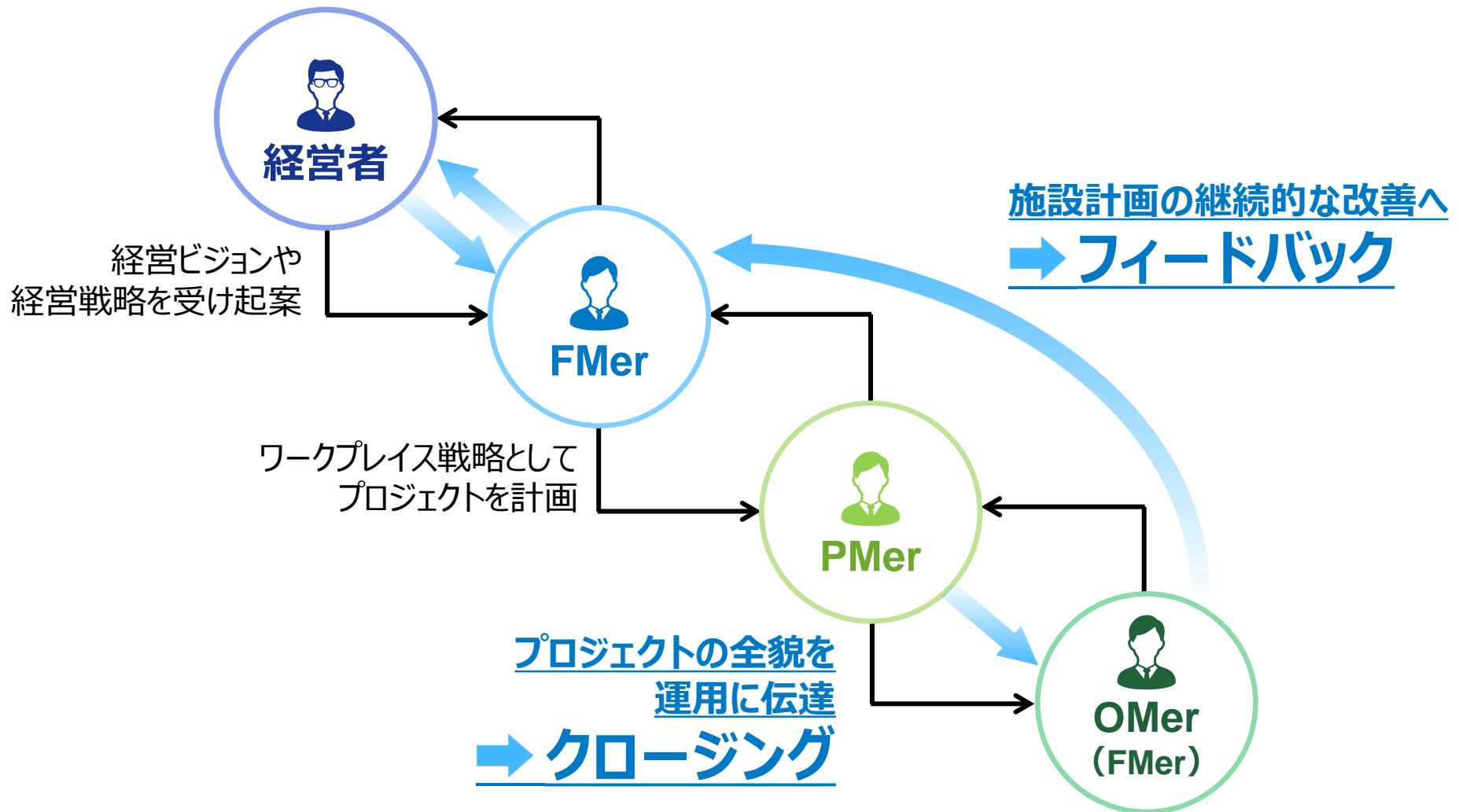
運用フェーズ

クロージングレポートへの記載内容は④だけでなく、①～⑤のすべて



運用フェーズ

プロジェクトの全貌を運用担当者へ引き渡し、運用担当者は上位へFBを行う



運用フェーズ

下記を含め運用フェーズで使える7種のテンプレートデータや多数のコラムを収録



「総務の山田です。」
テンプレート集

目 次	
I. プロジェクトの概要	
1) 移転実施概要	
2) プロジェクト推進の概要	
・プロジェクト運営組織(全体組織、ステアリングコミッティ組織、WG組織)	
・プロジェクトの目標	
・プロジェクトで利用した情報共有伝達システム	
・プロジェクト全体のコスト実績表	
・社内決裁者議書	
3) プロジェクト関係者名簿、連絡先一覧	
4) プロジェクトレポート	
・マスタースケジュール、各WGの活動スケジュール、引越しスケジュール	
・設計者、施工者、PMサービス提供者の選定経緯	

クローズドアウトレポートリスト

内部・大項目	中項目	小項目
1. はじめに		
2. メッセージ	新管理会員のメッセージ	
3. 目次	新しいシステムの導入セミナーについて	
4. オフィスビルの概要について	オフィスビルの概要	名称、所在地、階層、竣工
	オフィスビルの構造	
	昇降機の位置	
	ビルの入り口について	平日、休日
	エレベーター	直通層、中止層
	駐車場	
5. オフィスへの入退室について	入退室カードの情報	
	ドアを閉めた場合	
	ドアを閉めた場合	
	新規者行動手帳の提出場所(会員登録・入会など)	
	会員登録(会員登録などで新規登録した場合は)	
	会員登録	
	会員登録(会員登録などで新規登録した場合は)	
	会員登録	
	会員登録(会員登録などで新規登録した場合は)	
	会員登録	
	会員登録(会員登録などで新規登録した場合は)	
	会員登録	
6. オフィスのセキュリティレベルについて	セキュリティ装置も巡回に入りで巡回	
	社員の方のみ利用可能セグメント	
	監視カメラの位置まで巡回	

運用マニュアルサンプル

I. プロジェクト概要			
	説明	・現場課題の発見と変革のシナリオを描き、WS(働き方)、IC、IT、WP(アーリーテイク)の全体制適応を引き渡すも、そして、あらゆる理窟との調和を目指す。	
1. オフィスコンセプト	1)ワークスタイル	・経営管理の複数かたビジネスマードルバーグの複数など合意的な課題を具現化し、その改善・改善へとつなげる	
	2)ICT	・WS変革を実現する最適なICTの仕組みを構築する	
	3)ワークプレイス	・課題免見と共にビジョンとなるオフィス像を描き出す	
	4)ECO	・環境経営、環境業務、環境貢献を実現するオフィス像を実現する	
2. プロジェクト推進体制とメンバー			
3. 移転スケジュール		・2014年9月移転完了、10月1日から新オフィスで業務開始	
4. プロジェクト予算		・5億円 + 予備費 5%以内	
II. ファシリティコスト(移転ファシリティコスト調整表参照)			
1. フォリオ・賃有費(賃借料・相続公債・保証料)			
2. 特別経費(減価償却費・賃料コスト)			
3. ファシリティ保全費(維持費・環境整備費)			
4. ファシリティ運営費(光熱費・運搬費・食事費・セキュリティ費・業務支援費・生活支援費・家具什器・バーキング費)			
5. 統括管理費(人件費・管理経費)			
III. POE(搬出POE調整表: 搬出前/搬出後の比較分析を参照)			
1. オフィスにおける設備機材			
2. 個人のデスク(机)の搬出			
3. 共用書類・資料について			
4. 会議行合せスペース			
5. 受け・応接・共用スペースについて			
6. セキュリティについて			
7. オフィス環境について			
8. 食事環境について			
9. 合併評価			
10. その他			

プロジェクト効果検証シート



FMPM研究部会の位置付け



FMPMの基礎知識 - FMPMとは



今年度の研究テーマ
(FMPM : FMプロジェクトマネジメント)

これからの調査研究 本年のテーマ

プロジェクトが開始される背景(きっかけ)は何か。そして、そこからプロジェクトの目的と目標はどのように設定され、どのような成果が導かれるのか、研究する



プロジェクトが発生した背景

プロジェクトの目的、目標、コンセプトが決まった背景と達成のための施策



プロジェクトの組織（構成部署と役割）

プロジェクトの構成部署と役割



ワークプレイスのデザインのコンセプト

デザインはどのような背景で決定されたか？

設計者にどのようなことを期待されたか？



運用段階での体制

業務支援系、生活支援系、イベントなどの運用体制

参加希望者はJFMAホームページにて申し込み
または部会事務局までメールください

JFMA FMPM部会事務局
佐々木 信

m-sasaki@jfma.or.jp